

教科	国語	科目名	現代の国語		
学年	1 年	類・コース	グローバル特進	単位数	2
使用教材	【使用教材】 数研出版 現代の国語				
	【副教材】 浜島書店 最新国語便覧 桐原書店 新演習現代文アチーブ2 改訂新版 京都書房 新版高校漢字の学習				

○学習目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。

○評 価

知識・思考 定期テスト（中間・期末・学年末）
知識 小テスト（漢字・語彙等）
知識・思考 レポート課題・提出物
態度 出席状況や授業態度

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	随想・小説・作文	・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解する。 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解する。
2	評論・表現	・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことで語感を磨く。
3	評論・表現	・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解する。比喻、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方についても理解する。

教科	国語	科目名	現代の国語		
学年	1 年	類・コース	看護科	単位数	2
使用教材	【使用教材】 数研出版 現代の国語				
	【副教材】 浜島書店 最新国語便覧 桐原書店 新演習現代文アチーブ2 改訂新版 京都書房 新版高校漢字の学習				

○学習目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。

○評 価

知識・思考 定期テスト（中間・期末・学年末）
知識 小テスト（漢字・語彙等）
知識・思考 レポート課題・提出物
態度 出席状況や授業態度

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	随想・小説・作文	・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解する。 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解する。
2	評論・表現	・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことで語感を磨く。
3	評論・表現	・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解する。比喻、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方についても理解する。

教科	国語	科目名	現代の国語		
学年	1 年	類・コース	未来開進	単位数	2
使用教材	【使用教材】 大修館書店 新編現代の国語				
	【副教材】 大修館書店 新編現代の国語学習ノート 京都書房 高校漢字の学習				

○学習目標

- ・ 言語活動を通して、実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
- ・ 論理的思考力を伸ばし、自分の思いや考えを広めたり深めたりできるようにする。
- ・ 言葉を通して他者や社会と関わろうとする態度を養う。

○評 価

- ・ 定期考査
- ・ 小テスト
- ・ 個人課題（作文、ワーク等）の取り組み、記述内容
- ・ グループ活動の取り組み、発表内容、作品等

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	・ ことばをひらく ・ 日本語を使いこなす ・ わかりやすく説明する ・ 聞く力を育む	・ 「現代の国語」の目的を知り、学習に意欲をもつ。 ・ 場面や目的に応じた適切な言葉を理解するとともに、正確で論理的な分かりやすい文（文章）を書く。 ・ 説明のしかたに注意して文章の構成をつかむ。 ・ 聞き手にとって分かりやすい説明のしかたを工夫する。 ・ 必要な情報をメモしたり、質問したりしながら聞く。
2	・ 論理を読み取る ・ 伝え合いのレッスン ・ 説得力を高める ・ 情報と向き合う ・ 漢字検定準 2 級程度の漢字を学習する。	・ 文章における主張と根拠、具体と抽象、対比関係に着目して読む。 ・ 相手や場面に配慮した表現のしかたや、言葉以外の要素の大切さを知る。 ・ 意見と理由を備え、説得力のある意見文を書く。 ・ 情報を吟味するとともに、図表などから必要な情報を読み取る。 ・ 集めた情報を根拠として、説得力のあるレポートをまとめる。 ・ 漢字の書き取り、四字熟語を学ぶ
3	・ 他者を動かす ・ 社会に目を向けて ・ 漢字検定準 2 級程度の漢字を学習する。	・ 相手の心や気持ちを動かす企画書や依頼状の書き方、発表の仕方を工夫する。 ・ 文章などから読み取ったことをもとに、自分の考えを広げたり深めたりする。 ・ 漢字の読みを学ぶ。

教科	国語	科目名	現代の国語		
学年	1 年	類・コース	アスリート躍進	単位数	2
使用教材	【使用教材】 大修館書店 新編現代の国語				
	【副教材】 大修館書店 新編現代の国語学習ノート 京都書房 高校漢字の学習				

○学習目標

- ・ 言語活動を通して、実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
- ・ 論理的思考力を伸ばし、自分の思いや考えを広めたり深めたりできるようにする。
- ・ 言葉を通して他者や社会と関わろうとする態度を養う。

○評 価

- ・ 定期考査
- ・ 小テスト
- ・ 個人課題（作文、ワーク等）の取り組み、記述内容
- ・ グループ活動の取り組み、発表内容、作品等

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	・ ことばをひらく ・ 日本語を使いこなす ・ わかりやすく説明する ・ 聞く力を育む	・ 「現代の国語」の目的を知り、学習に意欲をもつ。 ・ 場面や目的に応じた適切な言葉を理解するとともに、正確で論理的な分かりやすい文（文章）を書く。 ・ 説明のしかたに注意して文章の構成をつかむ。 ・ 聞き手にとって分かりやすい説明のしかたを工夫する。 ・ 必要な情報をメモしたり、質問したりしながら聞く。
2	・ 論理を読み取る ・ 伝え合いのレッスン ・ 説得力を高める ・ 情報と向き合う ・ 漢字検定準 2 級程度の漢字を学習する。	・ 文章における主張と根拠、具体と抽象、対比関係に着目して読む。 ・ 相手や場面に配慮した表現のしかたや、言葉以外の要素の大切さを知る。 ・ 意見と理由を備え、説得力のある意見文を書く。 ・ 情報を吟味するとともに、図表などから必要な情報を読み取る。 ・ 集めた情報を根拠として、説得力のあるレポートをまとめる。 ・ 漢字の書き取り、四字熟語を学ぶ
3	・ 他者を動かす ・ 社会に目を向けて ・ 漢字検定準 2 級程度の漢字を学習する。	・ 相手の心や気持ちを動かす企画書や依頼状の書き方、発表の仕方を工夫する。 ・ 文章などから読み取ったことをもとに、自分の考えを広げたり深めたりする。 ・ 漢字の読みを学ぶ。

教科	国語	科目名	言語文化		
学年	1 年	類・コース	グローバル特進	単位数	2
使用教材	【使用教材】 数研出版 言語文化				
	【副教材】				
	浜島書店	最新国語便覧			
	桐原書店	新演習アチーブ古典 1 改訂新版			
	桐原書店	基礎から解釈へ漢文必携三訂版			
	桐原書店	基礎から解釈へ新しい古典文法			
	桐原書店	古文単語 315			
				文英堂	原色小倉百人一首

○学習目標

言葉を通して『わかる力』と『伝える力』を身につける。
 様々な種類の文章を読み、日本語についての知識を得ると共に、作品を味わう経験をする。
 古典としての古文と漢文を読む能力を培う。

○評 価

知識・思考 定期テスト（中間・期末・学年末）
 知識 小テスト（漢字・語彙等）
 知識・思考 レポート課題・提出物
 態度 出席状況や授業態度

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	【現代文】 随想・小説 【古文】 古文入門・物語 古典文法	さまざまな種類の文章を読む事で社会や人間、自然について自分の考えを深める。また、文章表現の基本を形作る。 古文に「触れる」ことから「読む」ことに深化させるための技法を学ぶ。
2	【現代文】 詩歌 【古文】 随筆・軍記・和歌・紀行	韻文を味わい、表現技巧について学ぶ。 代表的な日本の古典作品を分量豊かに読み進める中で、語彙・文法知識を豊かにする。また、名文については暗唱する。
3	【現代文】 小説 【漢文】 漢文入門・漢詩・史話・思想	・近代文学作品の読解を通して、小説世界の広がりとおもしろさを理解する。作品に対する自身の考えや評価をもつ。生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させる態度を高める。 ・漢文に「触れる」ことから「読む」ことに深化させるための技法を学ぶ。 漢詩に歌われている情景や心情を理解し、鑑賞する。 長めの文章を訓読のきまりに従って正確に音読し、漢文の調子に慣れる。

教科	国語	科目名	言語文化		
学年	1 年	類・コース	看護科	単位数	2
使用教材	【使用教材】 数研出版 言語文化				
	【副教材】 浜島書店 最新国語便覧 桐原書店 基礎から解釈へ漢文必携三訂版 桐原書店 基礎から解釈へ新しい古典文法				

○学習目標

言葉を通して『わかる力』と『伝える力』を身につける。
 様々な種類の文章を読み、日本語についての知識を得ると共に、作品を味わう経験をする。
 古典としての古文と漢文を読む能力を培う。

○評 価

知識・思考 定期テスト（中間・期末・学年末）
 知識 小テスト（漢字・語彙等）
 知識・思考 レポート課題・提出物
 態度 出席状況や授業態度

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	【現代文】 随想・小説 【古文】 古文入門・物語 古典文法	さまざまな種類の文章を読む事で社会や人間、自然について自分の考えを深める。また、文章表現の基本を形作る。 古文に「触れる」ことから「読む」ことに深化させるための技法を学ぶ。
2	【現代文】 詩歌 【古文】 随筆・軍記・和歌・紀行	韻文を味わい、表現技巧について学ぶ。 代表的な日本の古典作品を分量豊かに読み進める中で、語彙・文法知識を豊かにする。また、名文については暗唱する。
3	【現代文】 小説 【漢文】 漢文入門・漢詩・史話・思想	・近代文学作品の読解を通して、小説世界の広がりとおもしろさを理解する。作品に対する自身の考えや評価をもつ。生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させる態度を高める。 ・漢文に「触れる」ことから「読む」ことに深化させるための技法を学ぶ。 漢詩に歌われている情景や心情を理解し、鑑賞する。 長めの文章を訓読のきまりに従って正確に音読し、漢文の調子に慣れる。

教科	国語	科目名	言語文化		
学年	1 年	類・コース	未来開進	単位数	2
使用教材	【使用教材】 大修館書店 新編 言語文化				
	【副教材】 浜島書店 最新国語便覧				

○学習目標

生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

○評 価

知識・思考 定期テスト（中間・期末・学年末）
知識 小テスト（漢字・語彙等）
知識・思考 レポート課題・提出物
態度 出席状況や授業態度

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	【現代文】 随想・小説 【古文】 古文入門・物語 古典文法	言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解する。 主な常用漢字の読み書きに慣れ、文や文章の中で使うことを通して、語幹を磨き語彙を豊かにする。 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解する。
2	【現代文】 詩歌・小説 【古文】 随筆・軍記・和歌・紀行	作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について、言文一致体や和漢混淆文など歴史的な文体の変化について理解する。
3	【現代文】 小説 【漢文】 漢文入門・漢詩・思想	・言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通じて他者や社会に関わろうとする態度を養う。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。

教科	国語	科目名	言語文化		
学年	1 年	類・コース	アスリート躍進	単位数	2
使用教材	【使用教材】 大修館書店 新編 言語文化				
	【副教材】 浜島書店 最新国語便覧				

○学習目標

生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

○評 価

知識・思考 定期テスト（中間・期末・学年末）
 知識 小テスト（漢字・語彙等）
 知識・思考 レポート課題・提出物
 態度 出席状況や授業態度

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	【現代文】 随想・小説 【古文】 古文入門・物語 古典文法	言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解する。 主な常用漢字の読み書きに慣れ、文や文章の中で使うことを通して、語幹を磨き語彙を豊かにする。 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解する。
2	【現代文】 詩歌・小説 【古文】 随筆・軍記・和歌・紀行	作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について、言文一致体や和漢混淆文など歴史的な文体の変化について理解する。
3	【現代文】 小説 【漢文】 漢文入門・漢詩・思想	・言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通じて他者や社会に関わろうとする態度を養う。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。

教科	国語	科目名	論理国語		
学年	2 年	類・コース	グローバル特進	単位数	2
使用教材	【使用教材】 数研出版 論理国語				
	【副教材】 浜島書店 最新国語便覧 桐原書店 新演習現代文アチーブ3 四訂版 桐原書店 現代文単語 評論・小説 改訂版 筑摩書房 語彙力をつける入試漢字 2600				

○学習目標

実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

○評 価

知識・思考 定期テスト（中間・期末・学年末）
知識 小テスト（漢字・語彙等）
知識・思考 レポート課題・提出物
態度 出席状況や授業態度

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	評論・実用的な文章	・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解する。 ・実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めて書く。 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながらい旨を把握する。
2	評論・実用的な文章	・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語幹を磨き語彙を豊かにする。 ・情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえる。 ・文章の種類を踏まえて、白湯との関係を把握し、内容や構成を的確に捉える。
3	評論・実用的な文章	・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深める。 ・立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫する。 ・主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。

教科	国語	科目名	論理国語		
学年	2 年	類・コース	看護科	単位数	2
使用教材	【使用教材】 数研出版 論理国語				
	【副教材】 浜島書店 最新国語便覧 桐原書店 現代文単語 評論・小説 改訂版 筑摩書房 語彙力をつける入試漢字 2600				

○学習目標

実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

○評 価

知識・思考 定期テスト（中間・期末・学年末）
知識 小テスト（漢字・語彙等）
知識・思考 レポート課題・提出物
態度 出席状況や授業態度

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	評論・実用的な文章	・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解する。 ・実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めて書く。 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。
2	評論・実用的な文章	・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語幹を磨き語彙を豊かにする。 ・情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえる。 ・文章の種類を踏まえて、白湯との関係を把握し、内容や構成を的確に捉える。
3	評論・実用的な文章	・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深める。 ・立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫する。 ・主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。

教科	国語	科目名	文学国語		
学年	2 年	類・コース	グローバル特進・St	単位数	2
使用教材	【使用教材】 数研出版 文学国語				
	【副教材】 浜島書店 最新国語便覧				

○学習目標

生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通じて他者や社会に関わろうとする態度を養う。

○評 価

知識・思考 定期テスト（中間・期末・学年末）
 知識 小テスト（漢字・語彙等）
 知識・思考 レポート課題・提出
 態度 出席状況や授業態度

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	小説・詩歌	・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解する。 ・文学的な文章を書くために、選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいことを明確にする。 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉える。
2	小説・文学的文章	・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語幹を磨き語彙を豊かにする。 ・読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫する。 ・語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈する。
3	小説・文学評論	・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深める。 ・文体の特徴や修辞の働きなどを考慮して、読み手を引き付ける独創的な文章になるよう工夫する。 ・他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察する。

教科	国語	科目名	古典探究		
学年	2 年	類・コース	グローバル特進・St	単位数	2
使用教材	【使用教材】 数研出版 古典探究古文編・古典探求漢文編				
	【副教材】 文英堂 原色小倉百人一首 桐原書店 古文単語 315 三訂版 桐原書店 基礎から解釈へ漢文必携五訂版 桐原書店 新演習古典アチーブ2 三訂版				

○学習目標

生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

○評 価

知識・思考 定期テスト（中間・期末・学年末）
知識 小テスト（漢字・語彙等）
知識・思考 レポート課題・提出物
態度 出席状況や授業態度

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	古文・漢文	・ 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通して、語幹を磨き語彙を豊かにする。 ・ 古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深める。 ・ 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉える。
2	古文・漢文	・ 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深める。 ・ 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深める。 ・ 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉える。
3	古文・漢文	・ 古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方についての理解を深める。 ・ 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解する。 ・ 必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や天気ア、表現の特色について評価する。

教科	国語	科目名	論理国語		
学年	2 年	類・コース	未来開進	単位数	2
使用教材	【使用教材】 大修館書店 新編 論理国語				
	【副教材】 浜島書店 最新国語便覧 桐原書店 新演習現代文アチーブ2 四訂版 大修館書店 新編 論理国語 学習ノート				

○学習目標

実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

○評 価

知識・思考 定期テスト（中間・期末・学年末）
知識 小テスト（漢字・語彙等）
知識・思考 レポート課題・提出物
態度 出席状況や授業態度

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	評論・実用的な文章	・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解する。 ・実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めて書く。 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながらい旨を把握する。
2	評論・実用的な文章	・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語幹を磨き語彙を豊かにする。 ・情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえる。 ・文章の種類を踏まえて、白湯との関係を把握し、内容や構成を的確に捉える。
3	評論・実用的な文章	・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深める。 ・立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫する。 ・主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。

教科	国語	科目名	論理国語		
学年	2 年	類・コース	アスリート躍進	単位数	2
使用教材	【使用教材】 大修館書店 新編 論理国語				
	【副教材】 浜島書店 最新国語便覧 桐原書店 新演習現代文アチーブ2 四訂版 大修館書店 新編論理国語学習ノート				

○学習目標

実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

○評 価

知識・思考 定期テスト（中間・期末・学年末）
 知識 小テスト（漢字・語彙等）
 知識・思考 レポート課題・提出物
 態度 出席状況や授業態度

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	評論・実用的な文章	・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解する。 ・実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めて書く。 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながらい旨を把握する。
2	評論・実用的な文章	・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語幹を磨き語彙を豊かにする。 ・情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえる。 ・文章の種類を踏まえて、白湯との関係を把握し、内容や構成を的確に捉える。
3	評論・実用的な文章	・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深める。 ・立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫する。 ・主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。

教科	国語	科目名	文学国語		
学年	2 年	類・コース	未来開進	単位数	2
使用教材	【使用教材】 大修館書店 新編 文学国語				
	【副教材】 浜島書店 最新国語便覧 大修館書店 新編 文学国語 学習ノート				

○学習目標

生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通じて他者や社会に関わろうとする態度を養う。

○評 価

知識・思考 定期テスト（中間・期末・学年末）
知識 小テスト（漢字・語彙等）
知識・思考 レポート課題・提出物
態度 出席状況や授業態度

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	小説・詩歌	・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解する。 ・文学的な文章を書くために、選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいことを明確にする。 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉える。
2	小説・文学的文章	・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語幹を磨き語彙を豊かにする。 ・読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫する。 ・語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈する。
3	小説・文学評論	・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深める。 ・文体の特徴や修辞の働きなどを考慮して、読み手を引き付ける独創的な文章になるよう工夫する。 ・他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察する。

教科	国語	科目名	文学国語		
学年	2 年	類・コース	アスリート躍進	単位数	2
使用教材	【使用教材】 大修館書店 新編 文学国語				
	【副教材】 浜島書店 最新国語便覧 大修館書店 新編 文学国語 学習ノート				

○学習目標

生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通じて他者や社会に関わろうとする態度を養う。

○評 価

知識・思考 定期テスト（中間・期末・学年末）
知識 小テスト（漢字・語彙等）
知識・思考 レポート課題・提出物
態度 出席状況や授業態度

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	小説・詩歌	・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解する。 ・文学的な文章を書くために、選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいことを明確にする。 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉える。
2	小説・文学的文章	・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語幹を磨き語彙を豊かにする。 ・読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫する。 ・語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈する。
3	小説・文学評論	・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深める。 ・文体の特徴や修辞の働きなどを考慮して、読み手を引き付ける独創的な文章になるよう工夫する。 ・他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察する。

教科	国語	科目名	論理言語探究		
学年	2 年	類・コース	未来開進_選択	単位数	2
使用教材	【使用教材】 なし				
	【副教材】 リテラス 3 級テキスト・問題集				

○学習目標

実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

○評 価

知識・思考 確認テスト（中間・期末・学年末 時期）

知識 小テスト（漢字・語彙等）

知識・思考 レポート課題・提出物

態度 出席状況や授業態度

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	検定試験に向けた内容	・実用的な文章などの種類や特徴、構成や展開の仕方について理解を深める。 ・語句の量を増やし、話や文章の中で使うことを通して、語幹を磨き語彙を豊かにする。
2	検定試験に向けた内容	・実用的な文章などの種類や特徴、構成や展開の仕方について理解を深める。 ・語句の量を増やし、話や文章の中で使うことを通して、語幹を磨き語彙を豊かにする。
3	検定試験に向けた内容	・実用的な文章などの種類や特徴、構成や展開の仕方について理解を深める。 ・語句の量を増やし、話や文章の中で使うことを通して、語幹を磨き語彙を豊かにする。

教科	国語	科目名	国語探究		
学年	2 年	類・コース	未来開進_選択	単位数	2
使用教材	【使用教材】 なし				
	【副教材】 京都書房 テスト式国語常識の総演習 修訂三版 桐原書店 現代文アチーブ2 四訂版				

○学習目標

論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

○評 価

知識・思考 確認テスト（中間・期末・学年末 時期）
知識 小テスト（漢字・語彙等）
知識・思考 レポート課題・提出物
態度 出席状況や授業態度

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	評論文を中心とした文章 文学史の知識	筆者が述べようとしている主題を、簡潔な文章で表現する。 記述表現に抵抗なく取り組めるようにする。 古代から江戸時代に至るまでの文学史的知識を確認する。
2	小説を中心とした文章 文学史の知識	登場人物の心情読解を中心とした問題を解答をする。 表現された文章を語句レベルで読解する。 明治時代以降の作家や代表作品に関する知識を確認する。
3	評論・実用的な文章	・実用的な文章などの種類や特徴、構成や展開の仕方などについて理解を深める。 ・目的や意図に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から適切な題材を決め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にする。

教科	国語	科目名	論理国語		
学年	3 年	類・コース	グローバル特進	単位数	2
使用教材	【使用教材】 数研出版 論理国語				
	【副教材】 浜島書店 最新国語便覧 桐原書店 新演習現代文アチーブ4 四訂版 桐原書店 現代文単語 評論・小説 改訂版 筑摩書房 語彙力をつける入試漢字 2600 Z 会出版 共通テスト分野別対策 ベーシックマスター国語				

○学習目標

実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

○評 価

知識・思考 定期テスト（中間・期末・学年末）
知識 小テスト（漢字・語彙等）
知識・思考 レポート課題・提出物
態度 出席状況や授業態度

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	評論・実用的な文章	・主張と前提や反証など情報と情報との関係について理解する。 ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解する。 ・実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めて書く。 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要
2	評論・実用的な文章	・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法を理解する。 ・個々の文の表現の仕方や段落の構成を吟味するなど、文章全体の論理の明晰を確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるように工夫する。 ・関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深める。
3	評論・実用的な文章	・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深める。 ・立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫する。 ・主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。

教科	国語	科目名	論理国語		
学年	3 年	類・コース	未来開進	単位数	3
使用教材	【使用教材】 大修館書店 新編 論理国語				
	【副教材】 浜島書店 最新国語便覧 大修館書店 新編 論理国語 学習ノート 京都書房 テスト式国語常識の総演習修訂三版				

○学習目標

実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

○評 価

知識・思考 定期テスト（中間・期末・学年末）
知識 小テスト（漢字・語彙等）
知識・思考 レポート課題・提出物
態度 出席状況や授業態度

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	評論・実用的な文章	・主張と前提や反証など情報と情報との関係について理解する。 ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解する。 ・実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めて書く。 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要
2	評論・実用的な文章	・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法を理解する。 ・個々の文の表現の仕方や段落の構成を吟味するなど、文章全体の論理の明晰を確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるように工夫する。 ・関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深める。
3	評論・実用的な文章	・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深める。 ・立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫する。 ・主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。

教科	国語	科目名	論理国語		
学年	3 年	類・コース	アスリート躍進	単位数	2
使用教材	【使用教材】 大修館書店 新編 論理国語				
	【副教材】 浜島書店 最新国語便覧 大修館書店 新編 論理国語 学習ノート 京都書房 テスト式国語常識の総演習修訂三版				

○学習目標

実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

○評 価

知識・思考 定期テスト（中間・期末・学年末）
知識 小テスト（漢字・語彙等）
知識・思考 レポート課題・提出物
態度 出席状況や授業態度

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	評論・実用的な文章	・主張と前提や反証など情報と情報との関係について理解する。 ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解する。 ・実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めて書く。 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要
2	評論・実用的な文章	・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法を理解する。 ・個々の文の表現の仕方や段落の構成を吟味するなど、文章全体の論理の明晰を確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるように工夫する。 ・関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深める。
3	評論・実用的な文章	・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深める。 ・立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫する。 ・主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。

教科	国語	科目名	文学国語		
学年	3 年	類・コース	グローバル特進・St	単位数	2
使用教材	【使用教材】 数研出版 文学国語				
	【副教材】 浜島書店 最新国語便覧				

○学習目標

生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、我が国の言語文化に対する理解を深める。深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりできる。生涯にわたって読書に親しみ、自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

○評 価

知識・思考 定期テスト（中間・期末・学年末）
 知識 小テスト（漢字・語彙等）
 知識・思考 レポート課題・提出物
 態度 出席状況や授業態度

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	小説・詩歌	・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解する。 ・文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察する。 ・自由に発想したり評論を参考にしたりして、小説や詩歌などを創作し、批評し合う。
2	小説・文学的文章	・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解する。 ・登場人物の心情や情景の描写を、文体や表現の技法等に注意して読み取る。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深める。
3	小説・文学評論	・文章の構成や展開、表現の仕方などについて、伝えたいことや感じてもらいたいことが伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉えなおしたりする。 ・作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める。

教科	国語	科目名	古典探究		
学年	3 年	類・コース	グローバル特進・St	単位数	2
使用教材	【使用教材】 数研出版 古典探究古文編・古典探求漢文編				
	【副教材】 文英堂 原色小倉百人一首 桐原書店 古文単語 315 三訂版 桐原書店 基礎から解釈へ漢文必携五訂版 桐原書店 新演習古典アチーブ2 三訂版				

○学習目標

生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

○評 価

知識・思考 定期テスト（中間・期末・学年末）
知識 小テスト（漢字・語彙等）
知識・思考 レポート課題・提出物
態度 出席状況や授業態度

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	古文・漢文	・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察する。
2	古文・漢文	・古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結びつけ、考えを広げたり深めたりする。
3	古文・漢文	・古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりする。

教科	国語	科目名	文学国語		
学年	3 年	類・コース	未来開進	単位数	3
使用教材	【使用教材】 大修館書店 新編 文学国語				
	【副教材】 浜島書店 最新国語便覧 大修館書店 新編 文学国語 学習ノート				

○学習目標

生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、我が国の言語文化に対する理解を深める。深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりできる。生涯にわたって読書に親しみ、事故を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

○評 価

知識・思考 定期テスト（中間・期末・学年末）
知識 小テスト（漢字・語彙等）
知識・思考 レポート課題・提出物
態度 出席状況や授業態度

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	小説・詩歌	・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解する。 ・文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察する。 ・自由に発想したり評論を参考にしたりして、小説や詩歌などを創作し、批評し合う。
2	小説・文学的文章	・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解する。 ・登場人物の心情や情景の描写を、文体や表現の技法等に注意して読み取る。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深める。
3	小説・文学評論	・文章の構成や展開、表現の仕方などについて、伝えたいことや感じてもらいたいことが伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉えなおしたりする。 ・作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める。

教科	国語	科目名	文学国語		
学年	3 年	類・コース	アスリート躍進	単位数	2
使用教材	【使用教材】 大修館書店 新編 文学国語				
	【副教材】 浜島書店 最新国語便覧 大修館書店 新編 文学国語 学習ノート				

○学習目標

生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、我が国の言語文化に対する理解を深める。深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりできる。生涯にわたって読書に親しみ、事故を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

○評 価

知識・思考 定期テスト（中間・期末・学年末）
知識 小テスト（漢字・語彙等）
知識・思考 レポート課題・提出物
態度 出席状況や授業態度

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	小説・詩歌	・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解する。 ・文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察する。 ・自由に発想したり評論を参考にしたりして、小説や詩歌などを創作し、批評し合う。
2	小説・文学的文章	・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解する。 ・登場人物の心情や情景の描写を、文体や表現の技法等に注意して読み取る。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深める。
3	小説・文学評論	・文章の構成や展開、表現の仕方などについて、伝えたいことや感じてもらいたいことが伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉えなおしたりする。 ・作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める。

教科	国語	科目名	論理言語探究		
学年	3 年	類・コース	未来開進_選択	単位数	2
使用教材	【使用教材】 なし				
	【副教材】 リテラス 2 級テキスト・問題集				

○学習目標

実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

○評 価

知識・思考 確認テスト（中間・期末・学年末 時期）

知識 小テスト（漢字・語彙等）

知識・思考 レポート課題・提出物

態度 出席状況や授業態度

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	検定試験に向けた内容	・ 実用的な文章などの種類や特徴、構成や展開の仕方について理解を深める。 ・ 語句の量を増やし、話や文章の中で使うことを通して、語幹を磨き語彙を豊かにする。
2	検定試験に向けた内容	・ 実用的な文章などの種類や特徴、構成や展開の仕方について理解を深める。 ・ 語句の量を増やし、話や文章の中で使うことを通して、語幹を磨き語彙を豊かにする。
3	検定試験に向けた内容	・ 実用的な文章などの種類や特徴、構成や展開の仕方について理解を深める。 ・ 語句の量を増やし、話や文章の中で使うことを通して、語幹を磨き語彙を豊かにする。

教科	国語	科目名	国語探究		
学年	3 年	類・コース	未来開進_選択	単位数	2
使用教材	【使用教材】 なし				
	【副教材】 京都書房 テスト式国語常識の総演習 修訂三版 桐原書店 現代文アチーブ2 四訂版				

○学習目標

論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

○評 価

知識・思考 確認テスト（中間・期末・学年末 時期）
知識 小テスト（漢字・語彙等）
知識・思考 レポート課題・提出物
態度 出席状況や授業態度

○学習内容

学期	学習内容	学習の目的
1	評論文を中心とした文章 文学史の知識	筆者が述べようとしている主題を、簡潔な文章で表現する。 記述表現に抵抗なく取り組めるようにする。 古代から江戸時代に至るまでの文学史的知識を確認する。
2	小説を中心とした文章 文学史の知識	登場人物の心情読解を中心とした問題を解答をする。 表現された文章を語句レベルで読解する。 明治時代以降の作家や代表作品に関する知識を確認する。
3	評論・実用的な文章	・実用的な文章などの種類や特徴、構成や展開の仕方などについて理解を深める。 ・目的や意図に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から適切な題材を決め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にする。